

仏 心 ある 生 活 を !

さちあ

第 2 号

発 行 黄檗宗青年僧の会「大阪の集い」の有志
教化布教紙研究会

霊亀山 九 島 禅 院

〒550 大阪市西区本田3丁目4-18

TEL 06-582-5772

酒と仏教

戒は身をたすく

旧聞に属するが泥酔した高校の教師が女性ダンサーにからんで「バカ女」とののしつたり、小突いたりした為に、女性ダンサーが突き放したところ、電車のホームから落ちた事件がありました。ご存知のかたも多いと思います。女性性が傷害致死罪で起訴されると、世論は「正当防衛だ」「過剰防衛にあたる」などと大いに議論をよびましたが、この事件について考えてみたいと思います。仏教では、酒は不飲酒戒（ふおんじゅかい）といって五戒の一つに数えています。五戒とは、仏教徒が守るべき戒めですが、次の五つをあげています。

- 一 不殺生戒（殺すなかれ）
ふせうじょうかい
- 二 不偷盜戒（盗むなかれ）
ふちゆうとうかい
- 三 不邪飲戒（淫らで邪一よこしまな性を行うなかれ）
ふじやういんかい

この五つの戒めを「五戒」といいますが、五番目の「不飲酒戒」に酒は飲んではいけませんとされています。

このように「五戒」は「してはならないこと」を明確に示していますが、よくみてみると、これらは守れそうになり、心がわかります。人は生き物を殺さずに生きていくことは出来ません。嘘もそうです。ガン患者に対して真実を隠すこともあります。

じゃなせ、守られないような戒を作ったのでしょうか。極端な言い方があると「破るために戒めがある」のです。私たち凡人は、戒めを完全に守ることはできません。どうしても破戒せざるを得ません。破戒はやむを得ないので、だから、破戒せざるを得ない

- 四 不妄語戒（嘘をつくな）
ふまごころかい
- 五 不飲酒戒（酒を飲むな）
ふおんじゅかい

自分を徹底的に反省するので、仏教では、その反省を「懺悔（さんげ）」というのです。懺悔文というお経があります。

我借所造諸悪業
皆由無始貪瞋癡
従身口意之所生
一切我今皆懺悔

わたくしが昔から造ったさまざまな悪い行いは、すべて始めのない遠い過去からの貪（むさぼ）り、瞋（いか）り、癡（おろか）さによって生じたものです。そのため身体と言葉とところから生じるすべての行為を、わたくしは、今懺悔（さんげ）します。

この懺悔です。すなわち、自



